

教科・科目		単位数	対象学科・学年・クラス		備考
国語	現代文 B	3 単位	全学科	2 年 6 クラス	

1 学習の到達目標等

学習の到達目標	近代以降のさまざまな文章を読む能力を高めるとともに、ものの見方、感じ方、考え方を深め、進んで表現し読書することによって人生を豊かにする態度を育てる。
使用教科書	現代文 B 改訂版(第一学習社)
副教材等	漢字ボックス(浜島書店) 国語表現[改訂版]基礎練習ノート(大修館書店)

2 学習計画

学期	学習項目	学習の具体的内容
1 学期	・「手の変幻」	<ul style="list-style-type: none"> 論理的文章への抵抗感を抱かないように、評論文に慣れる。 表現上の特徴に着目させ、筆者の理論構造と主張を理解する。 抽象的な単語が本文の中で何をさしているのかを理解する。
	・「自他の間あい」	<ul style="list-style-type: none"> 注意深く読むことで、やや複雑な論理展開の文章の読解に習熟する。 具体例をあげている意図を理解し、「間あい」を筆者がどのようなものとして捉えているのかを理解する。 自他の「間」と「自己の同一性」との関係を確認し、「自己の同一性」がどのようなものなのかを理解する。
	・「山月記」	<ul style="list-style-type: none"> 小説の構成を確認し、主人公が自分の言葉に促されて自己分析を進めていく過程を把握する。 「人間」とは何かについて、考えを深める。 漢文的な表現が醸し出す独特の雰囲気味わう。
	・『私』中心の日本語	<ul style="list-style-type: none"> 本文全体の構成・展開を的確に把握する。 具体例によって論拠を示しながら主張を述べるという論述方法に注目し、筆者の主張を的確に把握する。 日本語における「私」と「世間」「他人」の関係における筆者の主張を、慣用表現や和歌の具体例をもとに理解する。 自分自身や周囲の人々の言葉を意識的に見つめるよう促し、言葉への関心を高める。
2 学期	・「働かないアリに意義がある」	<ul style="list-style-type: none"> 評論の読み方に習熟する。 指示語の内容を的確に理解する。 アリのコロニーにおける「働かないアリ」の意義について、正しく理解する。 安定した組織を持つ特徴について、正しく理解する。
	・「消費社会とは何か」	<ul style="list-style-type: none"> 「贅沢」とは何かを意識化させ、「浪費」と「消費」の違いを確認し、各人の身近な問題として捉える。 ボードリヤールやサーリンズの主張が本文においてどのような役割を担っているのか確認する。 自らにとっての「贅沢」や「消費」を問い直し、現代社会を批判的に問うまなざしを持つ。
	・「こころ」	<ul style="list-style-type: none"> 作品の構成と展開を理解する。 作中人物の心理と行動を読み取る力を養う。 表現法や語句の意味を知ることにより、より豊かな言語生活に役立たせる。 小説を通じて人間の「生」の意味と意義を考える。
3 学期	・『グローバル化』の中の異文化理解	<ul style="list-style-type: none"> グローバル化は普遍化・共通化と固有化・個別化という二つの逆の動きを持つことを理解する。 対象を相対化する視点を育み、自分なりの思想やより深い知識を持つための契機とする。 難解な語句や抽象的表現を的確に捉え、語彙力・読解力を養成する。 自身も文化を形成する一員であるという認識を養い、伝統文化に親しむ契機とする。
	・「葉桜と魔笛」	<ul style="list-style-type: none"> 回想形式であることを確認し、小説全体の構成を的確に捉える。 死んでゆく妹を思う「私」の心情描写を読み取る。 「私」が妹の手紙を見つけてから、妹の本心を聞くまでの心情の揺れ動きを読み取る。 老夫人の回想という形式に注目し、小説における語り手の役割やその効果を考える。

3 評価の観点、内容および評価方法

評価の観点および内容	評価方法
関心・意欲・態度	国語で理解し表現する力を進んで高めるとともに、国語を尊重してその向上を図ろうとしている。 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート ・ワークテキスト
思考・判断	目的や場に応じて効果的に話したり的確に聞きとったりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート ・ワークテキスト
観察・実験の技能・表現	必要な情報を用い、相手や目的、課題に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えを深め、発展させている。 近代以降の文章を的確に読み取ったり、目的に応じて幅広く読んだりして、自分の考えを深め、発展させている。 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート ・ワークテキスト
知識・理解	言語文化及び言葉の特徴やきまりなどについての理解を深め、知識を身に付けている。 ・学習活動への参加姿勢や態度 ・ノート ・ワークテキスト